

医薬品検索イーファーマトップ > 1190 その他の中枢神経系用薬の一覧 > メマンチン塩酸塩OD錠10mg「サンド」の医薬品基本情報

商品名 メマンチン塩酸塩OD錠10mg「サンド」 医薬品基本情報

薬効	1190 その他の中枢神経系用薬	一般名	メマンチン塩酸塩10mg口腔内崩壊錠
英名	Memantine hydrochloride OD SANDOZ	剤型	錠
薬価	26.40	規格	10mg 1錠
メーカー	サンド	毒劇区分	(劇)

メマンチン塩酸塩OD錠10mg「サンド」の効能・効果

中等度及び高度アルツハイマー型認知症における認知症症状の進行抑制

メマンチン塩酸塩OD錠10mg「サンド」の使用制限等

注意レベル禁止2. 高度腎機能障害、クレアチニンクリアランス値:30mL/min未満記載場所用法・用量注意レベル慎重投与3. アルツハイマー型認知症以外の認知症性疾患記載場所効能・効果注意レベル注意	1.	本剤成分又は含有成分で過敏症の既往歴	記載場所	使用上の注意
注意レベル 慎重投与			注意レベル	禁止
3. アルツハイマー型認知症以外の認知症性疾患 記載場所 効能・効果	2.	高度腎機能障害、クレアチニンクリアランス値:30mL/min未満	記載場所	用法・用量
記戦场 //			注意レベル	慎重投与
注意レベル 注意	3.	アルツハイマー型認知症以外の認知症性疾患	記載場所	効能・効果
			注意レベル	注意

4. 痙攣の既往、てんかんの既往、尿細管性アシドーシス、重症尿路感染、尿pHを上 昇させる因子を有する、腎機能障害、高度腎機能障害、クレアチニンクリアランス 値:30mL/min未満、高度肝機能障害<Child-Pugh分類C> 注意

メマンチン塩酸塩OD錠10mg「サンド」の副作用等

1. 失神、意識消失、精神症状、幻覚、錯乱、せん妄、黄疸、AST上昇、ALT上昇、ALP上昇、ビリルビン上昇、肝機能障害、横紋筋融解症、筋肉痛、脱力感、CK上昇、血中ミオグロビン上昇、尿中ミオグロビン上昇、急性腎障害、完全房室ブロック、高度洞徐脈、徐脈性不整脈

2. 痙攣、激越、攻撃性、妄想

記載場所	重大な副作用	
頻度	頻度不明	
記載場所	重大な副作用	
頻度	5%未満	

3. 過敏症、顔面浮腫、眼瞼浮腫、歩行障害、不随意運動、振戦、チック、ジスキネジ 一、活動性低下、鎮静、脱力感

記載場所 その他の副作用

頻度

頻度不明

その他の副作用

4. 発疹、めまい、頭痛、傾眠、不眠、徘徊、不穏、易怒性、不安、頻尿、尿失禁、尿 潜血、BUN上昇、肝機能異常、便秘、食欲不振、消化管潰瘍、悪心、嘔吐、下痢 、便失禁、血圧上昇、血圧低下、上室性期外収縮、血糖値上昇、転倒、浮腫、体重 減少、CK上昇、貧血、倦怠感、発熱、コレステロール上昇、トリグリセリド上昇

記載場所

頻度 5%未満

5. めまい、傾眠、胎仔体重増加抑制、出生仔体重増加抑制、不穏、幻視、痙攣、昏迷 、意識消失、昏睡、複視、激越、脳梁膨大皮質神経細胞空胞化、脳梁膨大皮質神経 細胞壞死、帯状回皮質神経細胞空胞化、帯状回皮質神経細胞壞死

記載場所 使用上の注意

頻度不明 頻度

メマンチン塩酸塩OD錠10mg「サンド」の相互作用

薬剤名等 : ドパミン作動薬 1.

> 作用を増強 発現事象

投与条件

理由・原因

本剤のNMDA(N-メチル-D-アスパラギン酸)受容体拮抗作 用が、ドパミン遊離を促進

指示

注意

薬剤名等: ヒドロクロロチアジド 2.

> 発現事象 血中濃度を低下

投与条件

理由・原因 -

指示

注意

薬剤名等 : 腎尿細管分泌により排泄される薬剤

本剤の血中濃度が上昇 発現事象

投与条件

理由・原因

本剤は一部が尿細管分泌(カチオン輸送系)により排泄されるため 、同じ輸送系を介する薬剤と競合

指示

注意

薬剤名等 : 尿アルカリ化を起こす薬剤

本剤の血中濃度が上昇 発現事象

投与条件

理由・原因 尿のアルカリ化により、本剤の尿中排泄率が低下

注意 指示

薬剤名等: NMDA受容体拮抗作用を有する薬剤

発現事象 相互に作用を増強 投与条件

理由・原因 両薬剤ともNMDA受容体拮抗作用を有する

指示 注意 Copyright© 2005-2025 e-pharma All rights reserved.